指定管理者評価シート

事業名 地域コミュニティ施設運営管理費 所管課(電話番号) 白石区市民部地域振興課(861-2422)

I 基本情報

	- CENTRICAL					
1 施設の根	l_施設の概要					
名称	札幌市白石東地区センター	所在地	札幌市白石区本通16丁目南4-27			
開設時期	平成8年5月10日	延床面積	1,219.88m²			
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長だ 増進に寄与する。	及び生涯学習の	普及振興を図り、もって地域住民の福祉の			
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。					
主要施設	図書室、ホール、集会室、実習室、利	和室等				
2 指定管理	里 者					
名称	札幌市白石東地区センター運営委員	札幌市白石東地区センター運営委員会				
指定期間	平成30年4月1日~平成35年3月31E	平成30年4月1日~平成35年3月31日				
募集方法	非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながることとなる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。					
指定単位		施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:				
業務の範	囲 (3) 事業の計画及び実施に関する (4) 施設の利用等に関する業務	(2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務				
3 評価単	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:					

Ⅱ 令和元年度管理業務等の検証

指定管理者 項目 所管局の評価 実施状況 の自己評価 業務の要求水準達成度 АВ 管理運営に係る基本方針の策定 С 地域に密着した利協定書に定めら 地域住民の生涯学習やまちづくり活動の拠点とし 用者参加型の地区 れているとおり、 (1)統括管 ての公的施設の特性を最大限に活用し、利用促進 センターづくりを目 園切に実施されて 理業務 を最大の目的とし、地域住民組織との協働事業を実 指した運営を推進し おり、要求水準を 施するなど、引き続き住民参加型の運営に重点を置 た。施設運営の基 満たしている。 いた。 盤となる利用料金 従前から行ってい 収入も年度末の新 るサポーター事業 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 型コロナウイルス感 は、利用者が自ら 地域住民の誰でもが気軽にかつ安心して利用でき 染拡大による休館 地区センターの施 る地区センターづくりを推進している。地区センター 等があったものの、 設運営に参加す の存在・活動を広く周知するため毎月発行の地区セ 総体的には順調に る機会を作り出 ンターだよりやホームページの活用など、広報活動を 推移しており、健全 し、より地域に密 充実させ利用促進を図った。 な地区センター運 着した施設づくり 営が維持されてい を行うために欠か ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 る。サポーター事業 |せない事業となっ ▼光熱水費については、引き続き照明器具の間引 や自主事業の古紙 ており、継続して きや、暖房器具の効率的な使用などの節約に努め 実施されているこ 回収事業も定着し、 るとともに、利用者にも協力を求めた。その結果、光 安定的な運営に貢 とは評価できる。 熱水費総体で4.8%、約206千円の減少となった。 今後も適正な運 献している。施設運 営に関する利用者 営に努めつつ、コ ▼事務局や各事業で使用する用品等は、グリー の評価も高く、引き ミュニティ活動の 購入ガイドライン指定品を購入・使用している。ま |続き利用者の二-|活性化につながる た、印刷物は両面印刷を基本とし、使用済み用紙の ズに的確に対応し 取組みの継続に 裏面利用など、環境に配慮した事務処理に努めてい た地区センターづく 期待している。 る。 りを進めている。 ▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、ゴミ排出 量や公共料金集計表等の各種帳票を提出した。 ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従 事者の確保・配置、人材育成) 事務局職員1名の交替があったが、担当職務を十 分に理解し業務を遂行しており、円滑な施設運営が 確保されている。また、地区センターが開催する講 座の一部を受講させるなど職員研修も実施し、職員 の資質の更なる向上を図っている。また、労働基準 監督署への時間外・休日労働に関する協定届の提 出も行った。 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 朝礼等を通じて職員間の情報の共有化を図り、窓 口での接遇技術の向上や円滑な施設の管理運営に 努め、事務局体制の更なる強化を目指した。 ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確 保、受託者への適切監督、履行確認) 施設・設備の維持管理業務を集約し、合理的な業 務遂行を行っているが、早期の不具合発見や、特に 休日における緊急事態の対応など、その効果が発 揮されている。また、警備、電気工作物保安管理業 務等についても第三者委託を行ったが、何れの業務 も適正に業務遂行された。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議•報告内容		
第1回	・菊水元町地区センターの休館及び 一時移転について		
(館長会議)	・備品購入について		
6/20	・利用状況及び利用率向上の取組に ついて		
	・まつり(文化祭)について		
	・ロビー展示基準の再確認について		
	・勤怠管理方法の実情について(区民 センターから)		
第2回	・平成30年度事業報告について		
7/25	・令和元年度事業計画について		
第3回	・備品購入について		
(館長会議)	・財務・業務検査について		
12/24	・白石東地区センターの改修工事に ついて		
	・令和2年度広報さっぽろ「白石区民 のページ」特集記事について		
	・東北まちづくりセンターにおける町内 会費等の紛失について		
	・利用状況及び利用率向上の取組に ついて		
第4回	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため会議資料の送達による開催とし た。		
	・令和元年度事業の実施状況について		
	・令和元年度予算の執行状況について		
<協議会メンバー>			
白) 地域振興課長、同課地域活動担当係長、東白石 町連副会長、大谷地第一町内会副会長、折紙サー クル代表、開放事業代表、運営委員会会長、同総務			

部長

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

管理運営資金の健全な運用を図るため、運営委員 による事務執行状況の確認を毎月実施している。特に、現金の取り扱いについては、現金取り扱い規定を定めており、現金の適正な管理を行っている。ま た、万が一の事故に備えて、動産損害保険に加入し ている。

▽ 要望·苦情対応

特に重要な要望・苦情はなかった。軽微な要望・苦 情については、その内容を検証し、改善を要する事 項については、職員に周知し迅速な対応に努めてい る。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリ ングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自 己評価の実施)

- ▼利用者アンケートを実施し、205名から回答を得 た。アンケート結果は4週間ロビー掲示板に掲示し た。
- ▼札幌市の業務検査では特に改善すべき指摘・指 導はなかった。引き続き適正な事務執行に配意して いる。
- ▼その他事業報告等についても、札幌市の指示に 沿って処理した。

(2)労働関 係法令遵守, 雇用環境維 持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

- ▼施設に勤務するパート職員に対し、最低賃金835 円(2018年10月1日発効)を上回る840円(R1.10.1~ 870円)の時給を支給した。
- ▼施設に勤務する職員に対し、時間外労働・休日労 働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃 金を支払った。
- ▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守 した。
- ▼施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させ る場合は、書面による労使協定(36協定)により必要 な定めをし、労働基準監督署に届け出た。
- ▼すべての労働者を労災保険に、条件を満たす労 働者を雇用保険に加入させた。
- ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保 険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応 じて適切に届出等を行った。
- ▼常勤職員には、1年に1回の定期健康診断を実施 した。
- ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかっ た。
- ▼職員の労働意欲の向上につながるよう、様々な労 働環境の改善に努めている。
- ▼職員の健康保持及び新型コロナウイルス感染拡 大防止のため、就業時にマスクを着用したほか、消 毒剤を常備した。

職員の労働に関 する法令の順守 や、雇用環境の向 上には引き続き配 意した。特に窓口業 務の質的向上や、 管理コスト縮減の意 務実績を考慮した 識を醸成するため にスキルアップを図 り、職員相互の情 報共有化を進める など、働きやすく働 き甲斐のある職場 づくりに努めてい

С 各種法令を遵守し 適正な運営を行っ ており、要求水準 を満たしている。 |職員の就労意欲 |向上を目的に勤 定期昇給を行って おり、優れた雇用 環境の維持向上 に資する取組みと して評価できる。

В

(3) 施設•設 備等の維持 管理業務

- ▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上 への配慮、連絡体制確保、保険加入)
 - ▼事故防止のため、施設内の貸室、共用部分の備 品配置に配慮し、利用者の安全確保に努めている。 特に、冬季間の館内床面のスリップ事故防止対策で はロビーに清掃用モップを常設するなど重点的に取 り組んでいる。
 - ▼損害賠償保険は仕様に適合した保険に加入。
- ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修 繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)
 - ▼施設・設備の維持管理業務は、そのほとんどを第 三者委託により実施したが、何れも適切に業務遂行 された。
 - ▼ロート・ヒーティング用温度調節器、同熱交換器のほか 暖房系統の修繕や照明器具関係の修繕を行った。
 - ▼構内の低木類の冬囲い及びその撤去はサポー ターの協力で行った。

▽ 防災

- ▼職員研修に併せて防災訓練を実施した。
- ▼災害時における避難所の開設・運営に関し、札幌 市との連携等、職員間の情報共有を図った。また、 札幌市支給の防災用寝袋10個、毛布10枚のほか運 営委員会で寝袋10個、毛布20枚を購入し常備してい る。

近年、地区セン ター内の施設・設備 は経年劣化が進 み、破損、故障が頻 やかに対応し、市 発している。特に、 暖房系の機器に故 障が頻発する傾向 にある。それらに対 処する経費の増加 が負担になっている」達成している。 が、予算執行のエ 夫や、サポーター事 業の活用などで補 い、利用者の安全・ 快適な利用を確保 するため、必要な修り、今後も引き続 繕等(要した経費約 310千円)を行っ た。

施設・設備の経年 劣化により頻発す る破損・故障に速 民等の利用に支 障が生じることの ないように適切に 対処していると評 価でき要求水準を また、第三者委託 のみならず、サ ポーターの協力を 得ながら維持管 理を継続してお き適正な管理運 営に努めていただ きたい。

С D

В

Α

(4)事業の計 画•実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

▼パソコン講座を8回実施。55名受講。

募集人員 各回15人 計120人

各回90% 計104人 日標

52.9%

実績 計55人 目標達成率

▼手打ちそば教室、夏・冬休みジュニア将棋教室、く らしに役立つ情報セミナーなど、7回の区民講座を開 催し、73名の受講があった。なお、計画した情報セミ ナー9は、新型コロナウイルス感染予防のため中止 した。

募集人員 計114人

各回90% 計103人 日標

実績 計73人 目標達成率 70.9%

※ 暮らしに役立つ情報セミナーとして開催した「す こやか体操教室」は、受講者に好評だったた め、2月から自由参加型で毎月1回実施開催し た。令和2度からは、地域の憩いの場づくり施設 活用事業に位置づけして事業化した。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

▼第22回の文化祭を開催。前年に続きプロの芸人 をゲストにアトラクションを実施した。今回も750人を 超える地域の方々に参加していただいた。

▼スポーツ系3種目と囲碁を楽しむ会及びぬいぐる みのおとまり会を開催。延111名参加。なお、ぬいぐ るみのおとまり会は2回の予定が新型コロナウイル ス感染予防のためその1回を中止した。

楽しむ会	募集	目標	実績	目標達成率
囲碁	30	27	16	59.3%
ぬいぐるみの おとまり会	10	9	11	122.2%
ク゛ラウント゛コ゛ルフ	72	65	46	70.8%
テニポン	32	29	16	55.2%
ゲートボール	30	27	22	81.5%

▼ミニコンサートを2回(計画は3回)実施。延130名 が参加した。3回目は新型コロナウイルス感染予防 のため中止した。

募集人員 各回70人 計140人

目標 各回90% 計126人

実績 計130人 目標達成率 103.2%

▽ 施設開放事業(無料)に関する業務

▼卓球・テニポン等のスポーツ系を週7回(冬期間は 週9回)、囲碁・将棋を週2回実施したほか、今年度 から新たに「みんなで元気体操」を月1回開放事業と して実施した。なお、2月23日以降新型コロナウイ ルス感染予防のためすべての開放事業を中止した。 延5,341人が参加。

▽ 図書業務

▼約22,300人の来室者があり、約77,300冊の貸し出 しがあった。

▼近隣小学校からの体験・見学学習を受け入れた。 (2件)

区民講座はパソコ ン講座を中心に14 講座を実施し128名 の参加があった。パーか、好評であった ソコン講座は基本ソ講座を新たに事 フト操作に関する講【業化するなど、地 座に多くの受講者 があったほか、根強|進や利用促進に いニーズがあり今 後も継続することと している。。 地域交流事業に関 しては、引き続き 「地域との協働」に 重点を置いた事業 を実施した。近隣の 2町内会連合会との 共催事業の開催と 白石東地区介護予 防事業への協賛を 行った。また、、ス ポーツ系(3種目) や囲碁を楽しむ会 は、勝敗にこだわら ない参加者の交流 を目的とした形式で 実施し、住民の親 睦・交流促進の目 的を達成している。

地域との協働に 重点を置いた事 業を実施するほ 域住民の交流促 努めており、要求 水準を達成してい ると評価できる。 定員と比較して参 加者が少ない講 座もあることから、 今後も利用者の ニーズを的確に把 握し、より魅力的 な講座、事業の実 施に努めていただ きたい。

Δ

В С D

/c\+ /c =0.40 m	I					1	
(5)施設利用に関する業	▽利用件	数等				1/ 1/5 L.> 5 +	A B C D
務		1	H30実績		H31実績	当地区センターを 活動拠点にしてい	貸室の稼働率は 一定の水準を維
		件数(件)	806		796	るサークルでは、高	持しており、要求
	ホール	人数(人)	17,373	17,500	21,096	齢化による会員数 の減少という共通	水準を満たしている。
		稼働率(%)	76	75	72	課題を抱えている。	っ。 今後も引き続き、
		件数(件)	1,114	1,150	1,191	半面、他の施設を	利用促進に向け
	集会室	人数(人)	9,374	9,500	10,483	利用していた団体 が新たに当地区セ	て積極的な情報 発信や広報活動
		稼働率(%)	52	52	56	ンターを利用する	に努めていただき
		件数(件)	569	570	550	ケースも増してい る。これは地区セン	たい。
	実習室	人数(人)	6,976	7,000	7,269	ターだよりやホーム	
		稼働率(%)	53	52	52	ページなどの広報	
		件数(件)	556	560	531	活動の効果が出て いるものと思われ	
	和室	人数(人)	6,034	6,200	5,169	る。前年度比で見る	
		稼働率(%)	52	52	52	と、貸室件数は	
		件数(件)	3.045	3,100	3,068	6.7%、増加しており、利用料金収入で	
	計	人数(人)	39,757	,		も約720千円、	
		稼働率(%)	57	1	57	12.8%増加している。	
	L ▽ 不承認	0件、 取消し				9 0	
	▽ 利用促		0111 //90		ZEIJ VII		
	ע מותניף ע						
		景示板の活用と					
)利用を呼び掛 だより」でも利用					
	ページに	「貸室利用状況	こ」を掲載し	して利用の	足進を図		
		こ、新聞社が発 ·提供し発信しで		ウン情報 刹	まにも行		
(6)付随業務	· /_ TK/K			- 4		1.4=4-4-	A B C D
	▼東白石・白石東町内会連合会の全区域に、事務局で編集・印刷した「地区センターだより」を回覧している。また、ホームページの更新・管理を強化し、利用者に新鮮な情報を提供している。なお、白石東地区センターのホームページは、JIS X8341-3:2016に基づき、ウェブアクセシビリティ向上を目指し、JIS X8341-				利用促進につな り、要求 がっている。ホーム たしてい ページには毎月約 ホーム/ 920件(前年は810 クセス数		
				化し、利		に実施されてお	
						り、要求水準を満	
						たしている。 ホームページのア	
	3:2016の適合レベルAAに配慮することを目標として						クセス数も年々増
	いる。					件)のアクセスがあ	加しており、今後 もより効果的な広
						る。なお、新聞社が発行する情報紙に	もより効果的な広 報活動に努めて
						も積極的に情報提	いただきたい。
						供している。	
2 自主事業その	の他						
▽ 自主事業							A B C D
▼古紙回]収事業					自主事業の古紙	古紙回収事業は
	7総量	12	2,530 kg			回収事業は札幌市の環境を取ります。	札幌市の環境行
奨励金等 46,000 円					の環境行政に貢献 している。この事業	政に資するもので あり、利用者への	
			,	古米の 台	Lo # 0# 3	収入は当会の貴重	還元もなされてい
		者が参加する 用者(地域住民			川員購人	な収入であるが、近隣町内会が行って	ることから、今後 も近隣町内会の
				-,-0			事業とのバランス
		福祉施策への配 きみの第三者を		I 睡 ス /→	古内車業	を圧迫することのな	を考慮しつつ、更
		美務の第三者委 内樹木の 剪定				いよう留意しながら 事業を進めている。	なる充実を図って いただきたい。
発注した	した。敷地内樹木の 剪定業務は地域内の事業者に 。			- A - I -	昨年度新規事業と	0.1212612010	
						してスタートした飲	
						料水自販機設置事業は、販売不振か	1
						ら事業者が撤退し	
						た。	1
						1	1

利用者の満足度 利用者アンケートの結果 AB С D 実施方 総体的に多くの利 概ね高評価を得 令和2年1月20日~令和2年2月21日 ており、日ごろか 用者から高い評価 貸室、施設開放、図書室利用者に協力依頼 を得た。一方、、施 らサービス水準の 設の老朽化が進行 維持向上に努め、 回答者205人 していることから、 安定的なサービス 結果概 日常の維持管理に の提供がなされる ・今後も地区センターを利用したいかとの問いに、是 非利用したいが71.2%、利用したいが22.9%、どちら ような管理運営が 配意した施設運営 かと言えば利用したいが4.4%であった。図書室を含 が必要である。衛生【行われていると評 めて、地区センターを今後利用したくないという利用 価できる。 面や室内環境な 者は皆無だった。 ど、細やかな気配り 引き続き、利用者 が求められており、 のニーズを的確に 事務室及び図書室における職員の接客態度につ より一層利用者目 把握し、サービス いては、全ての利用者から普通以上と評価されてい の更なる充実に 線での管理が必要 る。特に、図書職員への評価が引き続き高いととも と認識している。ま 向けて取り組むな に、窓口対応に係る苦情等も皆無であった。 た、利用者サービス ど、地域住民に親 の質を向上させる しまれる施設の管 ・区民講座受講経験のある利用者は28.2%であった ため、引き続き職員 理運営に努めて が、講座受講者の満足度は、97.0%の受講者が満足 のスキルアップに努しいただきたい。 度3以上であった。 める。なお、各種事 業の実施にあたっ ・地域交流事業の認知度は、文化祭やミニコンサートが ては、利用者のニー 高い。地域交流事業の参加者の満足度は、98.5%の ぶを的確に把握し、 参加者が満足度3以上であった。 新たな感覚で事業 を推進する。 館内の清掃状況については、全ての利用者が普通 以上と評価している。 【意見①】 和室のテーブルが重い。軽いものにしてほしい。 【対応】 経年劣化も著しいため更新いたしました。 【意見②】 図書室の絨毯や職員の衣服の洗剤の匂いで体調が 悪くなる。借りた本もたばこや柔軟剤の匂いで頭が 痛くなる。香料の使用自粛のポスター掲示や、図書 室で使う洗剤を無香料のものにしてほしい。 利用者 【対応】 からの 意見·要 望とそ 施設内で使用する洗剤等には極力配慮する。また、 本に移りやすいタバコや食べ物についての注意喚 の対応 起のポスターを掲出した。 【意見③】 図書室を祝日も利用可能にしてほしい。 【対応】 図書室の運営に関する事項は札幌市の条例で定め られている。祝日の図書室の利用は困難と思われる が、要望の趣旨を札幌市に伝える。

収支状況

収支 (千円)

項目		頁目	R元計画	R元決算	差
収入			35,297	35,884	587
	指定	管理業務収入	35,217	35,806	589
		指定管理費	29,057	29,057	0
		利用料金	5,700	6,343	643
		その他	460	406	▲ 54
自主事業収入		事業収入	80	78	▲ 2
支出	1		35,895	34,721	▲ 1,174
	指定管理業務支出		35,815	34,678	▲ 1,137
自主事業支出		事業支出	80	43	▲ 37
収入-支出		出	▲ 598	1,163	1,761
自主事業による利益還元		よる利益還元	80	76	4
法人税等		F	0	0	0
純利益			▲ 678	1,087	1,765

今年度も利用料 金収入が計画を上 回ったことと、他の 経費の削減などに より健全な財政運 営ができた。繰越利るものと評価でき 益剰余金も取り崩しる。 を行うことなく維持 しており、今後の効 果的な利用者還元 方法を模索し、更な る地区センター運営 の健全化を目指し たい。

A B C D 利用料金収入が 計画を上回ってい るほか、経費削減 にも努めており適 切に運営されてい

今後も安定した財 政運営を行ってい ただきたい。

【参考】	H31決算	内容
指定管理業務による利益還元	208	下記の通り

▽ 説明

▼利用料金収入は、利用件数が前年度を6.9%上回ったことか ら、予算比で643千円11.3%、前年度決算比で626千円10.9%の 増加であった。

▼その他収入は、講座受講料収入と雑収入等である。

▼指定管理業務による利益還元の内容は、座卓、高圧洗浄機、 広報用カメラ購入に充当した額である。

<確認項目> ※評価項目ではありません。	
▽ 安定経営能力の維持	適不適
▼当会の財務状況は利用料金収入の順調な増加とともに、経 費の節減効果により、引き続き安定した経営を維持している。	
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン 条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	適不適
▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。	
▼情報公開請求及びオンブズマンへの調査申し立てはなかった。	
▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、反社会的勢力を排除した契約を行った。	

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】

総合評価

来年度以降の重点取組事項

年度末の新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館があったものの、利用料金収入の増加傾向が継続しているとともに、経費の節減に努めた結果、繰越利益剰余金も前年度上回ったことから、安定した施設運営と設備の維持管理を支障なく行うことができた。また、事業面ではパソコン講座が中心の市民講座や、利用者の交流を目的とした事業を実施したほか、サポーター事業の継続や、ホームページ・地区センターだよりなどの広報活動を通じ、なお一層の利用者の拡大と、利用者が直接施設の運営に参画するシステムを追及するなど、地域の皆さんに愛される地区センターづくりを目指している。

令和2年度は、施設・設備の改修工事が予定されている。地域住民が安心・安全に利用できるコミュニティ施設として、引き続き計画的な資金管理と予算執行に努め、財政基盤を確固たるものとする。そのためにも、これまで継続してきた各種事業を通じて、地域に根ざした地区センター運営を行う。今年度も東白石・白石東両町連などの各種住民組織や地域団体との協働事業を積極的に実施し、地域との一体感の醸成に努め利用促進に繋げる。特に、地域の子供たちの健全育成につながる事業や、健康づくりに繋がる事業の展開を図り、住民のコミュニティ活動を強く支援したい。

【所管局の評価】			
総合評価	改善指導·指示事項		
地域に密着した利用者参加型の地区センターづくりを 目指した運営を行っており、サポーター事業により、利 用者や地域住民にも施設運営へ参加していただくとと もに、地域に根ざした施設として愛着を持っていただく 機会が継続されていることは評価できる。 また、利用者のニーズを的確に把握し、新規事業を実 施し、利用促進にも努めており、今後も利用者の増加 や地域コミュニティ活動の促進につながる取組の実施 に期待している。			